



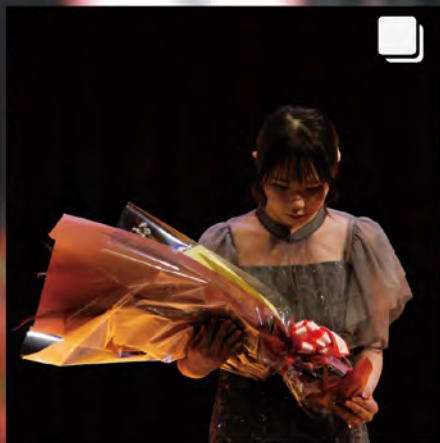
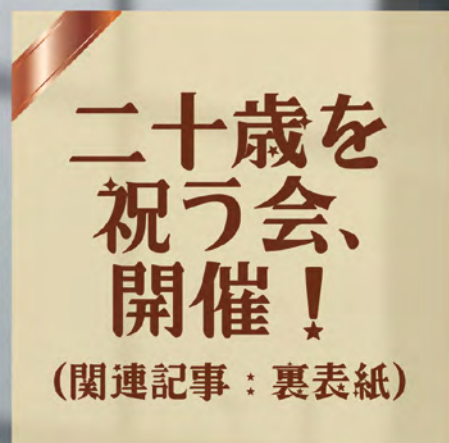
広報 しゅうばら

Shobara Public Relations

9

SEPTEMBER
2026

No.
258





シリーズ

躍動する子どもたち！

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



息の合った演技で伝統の「威舞希」を披露（庄原中学校）



大技に憧れのまなざしが集まる（永末小学校）



中学生が小学生をリード（比和中学校）

庄原中学校



本年度の庄原中学校体育祭は、「青龍」と「朱雀」の2団に分かれ、各団長を中心に勝利を目指して熱戦を繰り広げました。

6月7日の本番は、途中から雨が降り始めたため午前中で中断し、午後の種目は9日に延期。2日間にわたる開催となりました。

予期せぬ中断や延期にも、生徒たちは気持ちを切らすことなく競技に臨みました。特に3年生は、1日目最後の種目となったダンス・集団行動を雨の中で最後までやり抜き、その真剣な姿に会場は大きな拍手と感動に包まれました。2日目も生徒たちの熱意は衰えることなく、一人一人が最後まで全力を尽くし、本校伝統の踊り「威舞希」も無事に披露できました。

困難を乗り越え、心をつなげて創り上げた体育祭。この経験で深まった仲間との絆や、最後までやり抜く力を胸に、次は合唱祭へ向けて歩みを進めます。

「体力づくり編」

永末小学校



永末小学校では、児童一人一人が目標を設定し、その達成に向けて体力づくりに取り組んでいます。

秋の全校マラソン記録会に向けては、

業間マラソンや体育の授業で本番のコースを走るなど、日々練習を重ねています。

本番では、沿道からの声援を力に変え、苦しくても最後まで粘り強く走り抜きました。多くの児童が練習時の記録を更新し、目標を達成する喜びを味わいました。

また、冬季体力づくりとして実施している「縄跳び検定」では、検定日を2回設けることで、1回目の記録を上回ろうと、練習時間以外にも自主的に練習する姿が多く見られます。表彰式では、段位を取得した児童が技を披露し、「はやぶさ」などの難しい技に、「私も跳べるようになりたい」と憧れの声上がるなど、さらなる意欲向上につながっています。

比和中学校



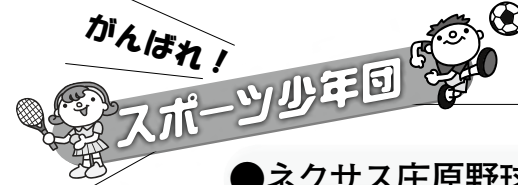
「SPARKLE ～一生懸命・やり切る～」

これは、比和小学校・中学校合同運動会に向けて児童生徒が考えたテーマです。

「SPARKLE」には、「きらめく」「輝く」「生き生きとする」という意味が込められており、児童生徒は一人一人が輝く運動会を目指して練習に励みました。

その象徴となったのが、中学校で初めて取り組んだ応援合戦です。振り付けや隊形づくりなど、何もないところから試行錯誤を重ね、本番では迫力ある演技を披露しました。全力で声を響かせ、一つ一つの動きに思いを込めた姿に、目頭を押さえる観客の姿も見られるほど、感動あふれる応援合戦となりました。

生徒からは、「大変なこともたくさんあったけど、楽しく、一人一人が輝いて、一生懸命やり切ることができた」との感想が聞かれました。



●ネクサス庄原野球クラブスポーツ少年団

ネクサス庄原は、令和3年4月に創部した中学生の軟式野球チームです。現在は中学生14人が在籍し、庄原中学校やさくら球場などで、週4回練習しています。

7月18日・19日に開催された広島県軟式野球連盟少年部主催の「夏季大会」では、県大会でベスト4に進出しました。日頃の練習の成果を発揮し、仲間と力を合わせて一戦一戦を戦いました。

これからも仲間とともに野球を楽しみながら、さらなる技術の向上を目指し、地域に愛され、必要とされるチームを目指して活動していきます。



代表：石川賀浩
☎ 090-8994-3850

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。

ミニストック実行委員会



活動内容 学生の力で生み出す庄原の新たなにぎわい

私たちは、かつて庄原市で開催され、西日本最大級の野外音楽フェスとして親しまれた「SET STOCK」のように、音楽で地域が一つになれるイベントを庄原で再び実現したいという思いから、活動を始めました。

アルバイト先で地域の人から「SET STOCKがあった頃は、まち全体が活気にあふれていた」という話を何度も聞き、その熱気を学生の力で取り戻したいと考え、「MINI STOCK」を立ち上げました。この名前には、SET STOCKの思いを受け継ぎ、小さな一歩から新たな歴史を築いていきたいという決意を込めています。

第1回、第2回は、地域の皆さんや出演者の協力を得ながら開催し、第3回では、これまでで最も充実したイベントを実現することができました。私たちは、音楽イベントを開催することだけを目的としているのではありません。音楽を通じて人と人をつなぎ、庄原を訪れる人を増やし、地域に新たなにぎわいを生み出すことを目指しています。

SET STOCKを知る世代には懐かしさを、若い世代には新たな思い出を届けながら、将来は庄原を代表する音楽フェスへと成長させられるよう、これからも挑戦を続けていきます。

問い合わせ

MINI STOCK実行委員会



▲メール



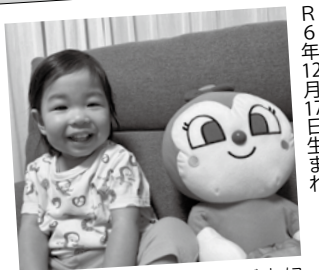
▲Instagram

市民活動団体登録をしませんか？

市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。

詳しくは、地域共創課自治振興係（☎ 0824-73-1154）まで。

- 2 市民のページ
- 3 躍動する子どもたち
- 4 PEACE-tell 将来像をかなえる5つのリーディングプロジェクト
- 5 行政相談月間
- 6 ひととひと まちとまちをつなぐ芸術線
- 7 市民と市長をつなぐ提案箱
／庄原市立学校のあり方の検討
- 8 庄原市行政経営改革審議会の答申
／リモート窓口・電子申請サービス
試行開始
- 9 最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付
／庄原市敬老会事業
- 10 てごす日誌 in 庄原
／コミュニティ助成事業
- 11 安心・安全な毎日のために
／ほのほのネット通信
- 12 カメラレポート
- 13 市政トピックス
- 18 お知らせ
- 28 出張！市政トピックス



父母より：食べることが大好きな風花ちゃん。たくさん遊んで、たくさん食べて成長してね。

関元風花ちゃん（新庄町）
R6年12月17日生まれ

お子さんの写真を載せてみませんか？

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・住所・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えて、経営戦略課または各支所地域振興室まで申し込んでください。郵送、メール（promo@city.shobara.lg.jp）でも受け付けます。メールアドレス



9月1日(火)から10月31日(土)までは

「行政相談月間」です

行政相談制度の認知度向上のため、毎年9月と10月の2カ月間が行政相談月間となっています。

行政相談ってなに？

あなたの毎日の暮らしの中で、行政(国・県・市)について「こんなことで困っている」「こうしてほしい」「相談先や制度が分からない」などの相談に応じる制度です。

- 例)
- 道路に横断歩道がなくて危ないので設置してほしい
 - 困りごとがあるけど、どこに相談していいかわからない
 - 行政の手続きがよくわからない

庄原市では、総務大臣から委嘱を受けた7人の行政相談委員が相談を受け付けています。
相談は無料で、秘密は固く守られますので、お気軽にご利用ください。

私たち
行政相談委員が
ご相談を
お受けします！

- ① 自宅電話番号
- ② 9月以降の定例相談日
- ③ 定例相談場所



【地域】
口和

おがさわら けいじ

- ① 0824-87-2304
- ② 9月25日・11月27日
1月22日・3月26日
9時30分～11時30分
- ③ 口和保健福祉センター
☎0824-89-2320



【地域】
高野

いのうえ きよのり

- ① 0824-86-2732
- ② 10月13日・12月8日
2月9日
13時～15時
- ③ 高野支所
☎0824-86-2115



【地域】
比和

わかばやし たかし

- ① 0824-74-6838
- ② 10月6日・12月1日
2月2日
13時30分～15時30分
- ③ 比和自治振興センター
☎0824-85-2600



【地域】
総領

はるた まさはる

- ① 0824-88-2303
- ② 毎月第2水曜日
9時～11時
- ③ 総領保健福祉センター
☎0824-88-3063



【地域】
庄原

みよし かずひろ

- ① 0824-72-4837
- ② 毎月第3木曜日
13時～15時
- ③ 庄原市ふれあいセンター
☎0824-72-7120



【地域】
西城

きやま てるお

- ① 0824-82-2869
- ② 10月15日・12月17日
2月18日
13時30分～15時30分
- ③ 西城自治振興センター
☎0824-82-2175



【地域】
東城

いわもと みつお

- ① 08477-5-0422
- ② 9月17日・10月15日
11月19日・12月17日
1月21日・3月18日
13時30分～15時30分
- ③ 東城支所
☎08477-2-5121

※都合により、日程を変更する場合があります。
※定例相談日以外にも相談できます。事前に行政相談委員へご連絡ください。

総務省でも行政相談を受け付けています

総務省行政相談センター きくみ広島(中国四国管区行政評価局)
広島市中区上八丁堀6-30 ☎082-222-1100



ピースフル

「PEACE-full」 将来像をかなえる5つのリーディングプロジェクト

重点
施策

経営戦略課 経営戦略係 ☎0824-73-1159

本市では、まちづくりの「めざす姿」や、その実現に向けて取り組む基本政策などを整備した第3期長期総合計画において「安心な暮らしが充実し、庄原に関わる人の未来がつながっていくまち」という将来像を掲げています。

この将来像を実現するためには、本市の持つ強みや特徴を生かし、他の自治体にはない魅力を創りあげ、競争力を高めることが重要となります。そのため、他の自治体に対して比較優位に立つための戦略的な取り組みが必要であることから、先導的な取り組みを分野横断的に進め、本市の将来像の実現を加速化するための5つのリーディングプロジェクト「PEACE-full」を立ち上げ、本年度より取り組みを進めています。

※「PEACE-full」という言葉には、PEACE(平和・安心)がfull(満ちている)なまちづくりをさらに充実させ、未来への希望あふれるまちづくりを進めたいという想いが込められています。

5つのリーディングプロジェクトとその目的

プロジェクト	目的・ねらい
1 P 庄原ブランディングの推進 pride	庄原に関わる人が誇りと愛着を持ち、自らが魅力を発信することで、庄原に「つながりたい」「行ってみたい」「住みたい」という人の流れの創出をめざす
2 E 食料とエネルギー自給の推進 food and energy	本市の「食」と「エネルギー」の自給を推進し、市民の「食」と「エネルギー」の支出を抑えることで、新たな視点で市民の経済的な豊かさの向上につなげる
3 A 観光の基盤産業化の推進 attract tourists	観光関係者が一体となって観光消費額の拡大に取り組み、地域外貨を獲得することで、「観光」を「地域経済を支える基幹産業」へと育てる
4 C 庄原版コンパクト＋ネットワークの推進 Compact city	活力とにぎわいを生み出す中心市街地の都市機能の充実と集約・再配置を推進するとともに、市内のどこに住んでいても中心市街地の機能が享受できるよう、移動手段の再構築と日常生活を支える不可欠な機能を提供する拠点の整備による構造転換を図る
5 E 地域の将来を見据え、子どもの進路実現をかなえる人材育成の推進 expand and develop potential	児童生徒の教育環境や地域の関係者との連携によるキャリア教育等の充実、県立広島大学の学生との共創事業を通じて、地域人材の育成に取り組むとともに、ふるさとへの愛着や誇りの醸成をめざす



※来月からは個別のプロジェクトについて紹介していきます



市民と市長をつなぐ提案箱

経営戦略課シティプロモーション係 ☎0824-73-1159

提案 現在、市内在住の高校生の半数以上は、本市から離れて進学や就職をしている状況です。若手労働者の確保は、本市にとって重要な課題だと思っています。そのため、高校卒業後に市内企業で就職する生徒には、市からの就職祝金を30万円支給すればどうでしょうか？本市に就職する事によって、人口減少の軽減、税収の上昇、さらには結婚につながる可能性もあります。

庄原市をより良くするため、また、市政やまちづくりの参考とするため、市民の皆さんの建設的なご提案を伺う「市民と市長をつなぐ提案箱」を市役所本庁舎および各支所に設置しています。本年度は、4月から7月の間に、市民の皆さんから17件のご提案をいただきました。お寄せいただいたご提案は、全て「市長」が自ら読ませていただいております。皆さんからの「ご提案」については個別の回答は行いませんが、本年度に寄せられた提案の一部を抜粋して、報告します。



市長

30万円なんてすぐに回収できますし、企業も若手労働者の確保につながります。ぜひ検討してほしいです。

市としても、卒業した生徒の多くが市外に進学や就職をしている現状は把握しています。本年度より、庄原の魅力を再認識し、誇りと愛着を高めることを目指す「庄原ブランド」の推進に取り組んでいます。こうした取り組みを通じて、将来的に子どもたちの地元就職やUターン就職にもつながる施策を検討してまいります。

その他、こんな提案も：

- ・市内タクシーの利用環境について
- ・なみか・ほろかによる市窓口支払への対応
- ・里山の駅庄原ふらりのイベント（マルシェなど）について
- ・川北川の活用について

ご提案はこちらから↓



子どもたちのより良い学びのために ～庄原市立学校のあり方の検討～

教育総務課総務係 ☎0824-73-1182

■児童生徒数の推移

区分	平成17年度 (合併時)	令和8年度 (現状)	令和14年度 (将来推計)
小学校	2,009人	1,188人	786人
中学校	1,154人	695人	560人
合計	3,163人	1,883人	1,346人

「子どもたちが学びたい、保護者が学ばせたい学校」を基本に、目指す学校の姿や、それを現実にするために必要な教育環境を考え、庄原市立学校のあり方の基本方針をまとめていきます。

検討していく事項

本市では、少子化に伴う学校の小規模化が急速に進んでいます。また、デジタル技術の急速な発展や価値観の多様化、グローバル化の進展など、私たちを取り巻く社会も大きく変化してきています。こうした現状において、子どもたちが将来求められる資質・能力を育み、生き生きと学べる環境を作るため、市教育委員会では、市立学校のあり方の検討を進めています。

検討の進め方

教育関係者や保護者などで構成する「庄原市立学校のあり方を考える会」との意見交換を行うほか、PTAなどの関係団体や地域へのヒアリング・説明会を開催し、市民の皆さんから幅広くご意見を伺う予定です。

庄原市立学校のあり方を考える会

7月27日に第1回目、8月27日に第2回目の会議を行いました。今後は、おおむね全5回程度の開催を予定しています。

会議は公開を基本としており、開催状況や意見交換の内容などは、市ホームページで発信していきます。



ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線 ～芸備線再構築協議会で取り組む実証事業と再構築方針～

地域交通課芸備線対策係 ☎0824-73-1171

7月16日、第7回芸備線再構築協議会が広島市で開催されました。今回は、実証事業ABや再構築方針作成などに関する調査事業などの実施状況が報告され、最適な交通モードの判断に当たっての論点整理について協議が行われました。

■令和8年度 芸備線再構築方針作成等に関する調査事業(方針作成等調査事業)実施状況 ⇒実証事業ABに関する調査事業について報告されました。(A:JR、B:バス)



1 実証事業Aを補完するデータ収集 JR臨時列車 休日日中増便の結果

成果

- ・増便を含む芸備線の運行が、遠方からの来訪促進につながった
- ・増便列車が新規来訪者の獲得に寄与した

課題

- ・12月以降に利用が減少しており、年間を通じた安定的な需要の創出に課題がある
- ・特定区間沿線で宿泊や買い物などを行える拠点が限られており、受入環境に課題がある



2 実証事業Aを補完するデータ収集 二次交通調査の結果

成果

- ・観光客向けの二次交通（シャトルバス）は一定の利用があった
- ・新規誘客に寄与しており、地域での観光消費拡大に寄与した

課題

- ・住民向けの二次交通（定額乗合タクシー）は伸び悩み、駅からの二次交通整備や芸備線のダイヤ変更だけではニーズに応えられていない



3 地域経済効果の比較検討 実証事業Aを恒久化した場合の費用と効果

成果

- ・一定の集客につながったものもあり、事業単体としては費用を定量的価値が上回った
- ・芸備線の存在が、地域の絆や活力の醸成につながっていることが示唆された

課題

- ・年間費用として試算した場合、8.3億円の事業費に対して、4.1億円の定量的価値となる
- ・定量的価値全体のうち地域が受益する価値は約4割にとどまり、その主な原因は「芸備線の乗車自体が目的」であることによる



4 実証事業Bを補完するデータ収集 平日バス調査(高校生モニター)の意見

実証バスに乗車した人の意見をまとめました。



良いところ
・乗降位置



変わらないところ
・乗り換えの手間
・ダイヤ
・課外活動時間の増加
・移動時間の短縮



悪いところ
・乗り心地



5 実証事業Bを補完するデータ収集 平日バス調査(1便当たりの平均乗車人数)の結果

新見 → 東城	3.9人	人
東城 → 新見	4.3人	人
東城 ⇄ 落合	0.3人	人
落合 → 西城	0.2人	人
西城 → 落合	0.6人	人
西城 → 庄原	1.0人	人
庄原 → 西城	0.6人	人

※データは6月調査の平均値

8月3日から、実証事業B・バス(平日)のダイヤを改定しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。



実証事業の最新情報はこちら
(市ホームページ)



調査結果・資料はこちら
(中国運輸局ホームページ)

最高裁判決を踏まえた 生活保護費の追加給付を行います

社会福祉課生活福祉係 ☎0824-73-1166

平成25年に国が実施した生活扶助基準の引き下げについて、令和7年6月に最高裁判決で「デフレ調整に係る厚生労働大臣の判断の過程および手続きには過誤、欠落があった」と指摘されました。

この判決を踏まえ、国は新たな水準を示し、その差額を追加給付することを決定しました。

本市においても、国の対応方針を受け、追加給付を実施します。

追加給付の概要

対象世帯

平成25年8月から平成30年9月までの間に、本市で生活保護を受給していた世帯が対象です。

また、平成30年10月から令和8年3月までの間に生活保護を受給したことがある世帯のうち、世帯員が一定期間、入院・入所していた世帯や、毎年12月に支給される期末一時扶助費が算定されていた世帯なども対象になります。

支給金額

受給期間や世帯状況、追加給付の対象となる各種加算の

認定状況により異なります。

手続き

【現受給世帯】

手続き不要です。支給額、支給予定日などを記載した決定通知書を既に送付しています。

【廃止世帯】

廃止世帯については、申出書および添付書類を社会福祉課へ提出してください。

申出書は社会福祉課で受け取ることができるほか、市ホームページからダウンロードできます。

添付書類

受給当時の全世帯員の戸籍謄本の写し、申出者の本人確認書類（運転免許証、マイナンバーカードなど）、本人名義の預貯金通帳の写しなど

申出書提出期限

令和9年7月31日

問い合わせ

最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付相談センター
☎0120・179・445
※個別の支給金額についてはお答えできません。あらかじめご了承ください。

庄原市敬老会事業 ～9月15日は老人の日～

高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1143

市では、9月の老人保健福祉月間に合わせ、高齢者の皆さんが、できる限り住み慣れた地域でいきいきと暮らし、生きがいを持って活動できる地域づくりを進めています。

長年にわたって社会の発展に尽力されてきた皆さんへの感謝と敬意を表するとともに、地域で支え合う機運を高めるため、「敬老会補助事業」と「敬老会補助事業」を実施しています。

敬老祝金支給事業

100歳という大きな節目を迎えられる皆さんの長寿を祝い、敬老の意を表するため、敬老祝金を支給します。

対象者

9月15日現在、市内に住所があり、大正15年4月1日から昭和2年3月31日までに生まれた人

※対象者には、8月上旬頃に個別で通知しています。（施設に入所している人は、施設を通じて通知します。）

支給額

3万円

敬老会補助事業

自治会や地域団体などが開催する敬老会に対し、補助金を交付します。

敬老会は、高齢者の長寿を祝うとともに、地域住民との交流を深め、地域福祉の増進を図る大切な機会です。補助金は、敬老会の開催に必要な経費などに活用できます。

対象者

敬老会事業を主催する自治会などの団体

交付額

75歳以上の高齢者数（12月末現在）に1人当たり1220円を乗じた金額

申請期限

敬老会事業実施日の前日まで

申請に必要なもの

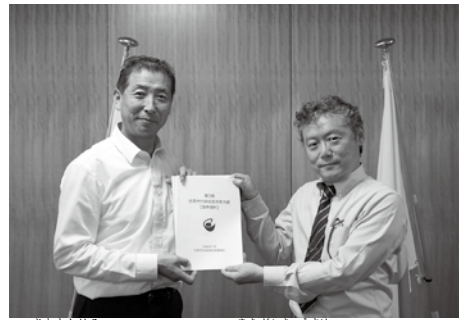
敬老会事業補助金交付申請書
※申請書は高齢者福祉課または各支所地域振興室で受け取ることができます。



庄原市行政経営改革審議会の答申 ～令和8年度から5年間の取り組みを提示～

行政経営改革課行政経営改革係 ☎0824-73-1112

7月7日、市は庄原市行政経営改革審議会から、市長が諮問した行政経営改革に関する答申を受けました。



▲澤俊晴会長(右)から八谷恭介市長(左)へ答申書を手渡し

答申の内容

社会経済情勢の急激な変化や人口減少などにより、本市の自治体運営は大変厳しい局面を迎えています。これを超えるため、新たな視点と発想で目標を設定し、業務執行体制の見直しや財政健全化などの行政経営改革を進める必要があるとして、答申では、令和8年度から令和12年度の5年間の取り組みの柱が次のとおり示されました。

①新たな手法の導入などによる事務事業の改善

AIなどの先進技術で業務

を効率化し、民間のノウハウを生かします。

②多様な主体との連携の強化

自治振興区や他自治体、民間団体と連携し、地域課題の解決を図ります。

③ビルド・アンド・スクラップの徹底

施設を集約し、事業の優先順位をつけて効率化を進めます。一方で、本来に必要なサービスは充実させます。

④持続可能な業務執行体制の構築

各支所の機能を改編します。また、限られた人数でも安定して業務ができる体制を作ります。

⑤財政資源の最適配分

収入の確保と支出の見直しにより、持続可能な財政運営を行います。

市では、この答申の内容を尊重し、令和8年9月に「第3期庄原市行政経営改革大綱」を策定するとともに、今後着実に改革を実行していきます。

答申の詳細は、市ホームページをご覧ください。



窓口手続きがもっと便利に ～リモート窓口・電子申請サービス試行開始～

行政経営改革課DX推進係 ☎0824-73-1112

リモート窓口

市民サービスの向上と業務の効率化を図るため、オンライン相談窓口の試行運用を行っています。

支所からビデオ通話で本庁の職員に相談できます。

予約制で、都合の良い時間帯を選べます。対象となる業務などは次のとおりです。

※予約は担当課または各支所へご連絡ください。

電子申請もスタート！

9月から、電子申請サービスの試行を開始します。各種手続きがパソコンやスマートフォンから24時間いつでも申請できます。

対象となる手続きや利用方法の詳細は、市ホームページをご覧ください。



相談場所	対象業務	担当課
西城支所 ※しあわせ館を除く 東城支所 口和支所 高野支所	生活保護関係 ※西城支所を除く	社会福祉課 ☎0824-73-1166
	消費生活相談 ※東城支所を除く	地域共創課 (消費生活相談員) ☎0824-73-1154
	市税相談	税務収納課 ☎0824-73-1146
	農業振興課業務	農業振興課 ☎0824-73-1131
	林務関係業務	林業振興課 ☎0824-73-1124
	日本型支払い 交付金事業	農林整備課 ☎0824-73-1136

▶ 実際の不審メール

【不審な手続き依頼に関する注意喚起】

警察庁発 特殊詐欺防止情報のお知らせ

不審電話である詐欺通話をアプリでブロック！

特殊詐欺による携帯電話への架電事例が急激に増加しています。詐欺師との通話を防ぐため、国際電話番号をアプリにより遮断する施策が効果的です。

「詐欺バスター Lite」は警察庁推奨制度によって認定された安心な詐欺対策アプリです。第三者による厳しい審査を通過しており、安全性が確保されています。

詐欺活用番号を着信拒否可能な機能を有し、ダウンロード時・利用時費用は生じません。

個人情報の取り扱いを完全に管理し運営されているため、不安を感じず導入いただけます。警察庁配信される特殊詐欺警戒関連情報を取得できます。

アプリダウンロードはこちら

リンクを押さない！
&
電話しない！

特殊詐欺対策アプリのダウンロードを呼びかける、不審なメールが他県で確認されています。メールに記載されたリンクから、不審なサイトへ誘導される可能性があるため、注意が必要です。

現在、携帯電話機に掛かってくる国際電話などへの対策として、警察庁は「詐欺対策 by NTTタウンページ」と「詐欺バスター Lite」の2つの特殊詐欺対策アプリを推奨しています。

しかし、警察庁はこれらのアプリのダウンロードを呼びかけるメールを発信していません。

不審なメールが届いた場合は、リンクを押したり、記載された連絡先に電話したりせず、メールを削除してください。

特殊詐欺対策アプリをかたる不審なメールにご注意

現在、携帯電話機に掛かってくる国際電話などへの対策として、警察庁は「詐欺対策 by NTTタウンページ」と「詐欺バスター Lite」の2つの特殊詐欺対策アプリを推奨しています。

不審なメールに記載された「アプリダウンロードはこちら」などのリンクを押すと、「接続できません」と表示されたり、通販サイトへのサインインを求められたりする事例が確認されています。

警察庁を名乗るメールであっても、アプリのダウンロードを求める内容であれば、まず「おかしい」と考えてください。

ご家庭で「いのちや性」について話してみませんか

ご家庭で、いのちや性に関する子どもからの質問に、「答えにくい」「どう答えたら良いのだろう？」と戸惑うことはありませんか？

ご家庭で話をする際のポイント

「あなたは家族にとって大切な存在である」ということを分かりやすい言葉で伝えましょう。自分が愛されていることを感じると、子どもの安心感が増します。

答えが分からない時は、一緒に考えたり調べたりする姿勢を持つと良いでしょう。正しい知識を身につけることで、自分の身を守る力につながります。今回は、そのような時に役立つ本を紹介いたします。

幼児向け

・だいじ だいじ どーこだ？ (大泉書店)

・性の絵本 (KADOKAWA) 小学校低学年から

・サッコ先生と！からだこころ研究所 小学生と考える「性ってなに？」(リトルモア)

・マンガでわかる 思春期のわが子と話したい性のこと (新星出版社)

また、ほのぼのネットでは、小・中・高校生を対象に「いのちの学習」「性について」の講座や出前トークを行っています。これらは、いのちの尊さを学び、性の正しい知識を身につけること、自分や他者を大切にすることを目的に実施している講座です。



受講した子どもからは「自分が生まれてきたことは奇跡だと分かった」「性について知るとは、自分や相手を大切にするために必要だと分かった」などの感想が寄せられています。子どもたちは、自分が生まれた時や小さかったころのこと、思春期の体の変化に関心を持っています。ぜひご家庭で、お子さんとのちや性について話してみませんか。



問い合わせ
子育て応援課子育てサポート係
☎0824・73・0051

皆さんこんにちは！
テゴスのフィールドアドバイザー・佐々木です。
稲刈りが始まっている今、来年度の作物を鳥獣被害から守るための、稲刈り後の田んぼの管理方法について紹介します。

敬愛して
すつきりしました！



収穫後も被害対策の継続を！

稲刈り後にも行っていたきたい作業があります。それは、稲刈り後に伸びてくる「ひこばえ」の対策です。



▲ひこばえ

ひこばえは、野生鳥獣にとつてとても美味しく、栄養価が高い魅力的な餌になるため、餌付いてしまう
と、翌年も被害に遭う可能性が高くなつてしまいま
す。



▲ひこばえを食べに来た鹿の群れ

ひこばえの対策方法

ひこばえが伸びないように、稲刈り後に秋起こし（秋に田畑を耕す作業）をしてください。



秋起こしをしない場合は、稲刈り後も侵入防止柵をそのまま維持します。電気柵では、24時間通電を維持するのが理想です。

電気柵に通電しない場合は、柵線を撤去して、田植え前に再度張ります。これは、通電していない電気柵に野生鳥獣が慣れ、「電気柵は怖くない」と学習することを防ぐためです。



ワイヤーメッシュ柵などの場合は、柵沿いの草刈りと破損や隙間がないか点検し、破損した箇所は補修します。また、作物がなくても柵の出入り口を閉じることも大切です。皆さんの農地の状況に応じた方法で、来年に向けた対策を行ってください！

宝くじの助成金で地域活動に必要な備品を整備
コミュニティ助成事業で地域づくり（一般コミュニティ助成事業）

▼整備された備品（一部）



市内のコミュニティ組織が、宝くじを財源とするコミュニティ助成事業の採択を受け、備品を整備しました。この事業は、地域コミュニティ活動の促進とその健全な発展を図ることを目的に、一

実施団体名	整備備品	事業実施の成果	上段：助成金 下段：事業費
上川西自治会	エアコン、掃除機 (上川西上集会所はエアコン2台、掃除機1台、上川西下集会所はエアコン、掃除機各1台)	高齢者をはじめとする会員が、健康で安全に施設を利用できる環境が整えられた。 また、コミュニティ活動がさらに活性化し、地域の一体感の醸成や連帯意識の高揚が図られるとともに、高齢者が集うサロンなどを安全に実施できる環境が整った。	1,000,000円 1,033,000円

般財団法人自治総合センターが行う事業で、地域のコミュニティづくりに役立てられています。この事業を活用して整備した備品には「宝くじ」のマークを取り付けています。



生涯学習課 全国の舞台へ挑戦する選手を激励
全国大会等出場者壮行式（夏季）



壮行式に参加した皆さん

7月21日、市役所本庁舎1階市民ホールで、全国大会などへ出場する人を対象に、壮行式を開催しました。このたびの壮行式は、個人34人が対象となりました。

壮行式では、八谷恭介市長と桂藤和夫市議会議長が激励の挨拶を行い、牧原明人教育長から出場者一人一人に祝金と花束が贈呈されました。また、出場者を代表して、令和8年度全国中学校体育大会 第53回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場する小野颯佑さんが力強い決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

- 出場者（敬称略）
- 第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026
- （7月28日～30日／秋田県秋田市）
- 写真部門
- 小田 歩美（庄原格致高3年）
香川 凛（庄原格致高2年）
- 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 Miss Dance Drill Team Japan Competition 2026
- （7月24日～26日／東京都渋谷区）
- HIPHOP 男女混成部門 Small 編成・HIPHOP 女子部門 Small 編成
- 新本 聖来（創志学園高3年）
- 全国高等学校総合体育大会 レスリング競技大会
- 三笠宮賜牌 第73回全国高等学校レスリング選手権大会
- （7月23日～26日／和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）
- 男子個人対抗戦65kg級
- 内海 鼓鉄（三次高2年）
- 全国高等学校総合体育大会 陸上競技大会
- 秩父宮賜杯 第79回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
- （7月30日～8月5日／滋賀県彦根市）
- 男子走高跳
- 黒永 拓海（沼田高3年）
- 男子やり投げ
- 杠 航太郎（弓削商船高3年）
- 女子4×100mリレー
- 児玉 結香（沼田高2年）

- 女子4×400mリレー
- 松尾 伶衣紗（広島皆実高2年）
- 全国高等学校総合体育大会 空手道競技大会
- 第53回全国高等学校空手道選手権大会
- （8月6日～9日／兵庫県姫路市）
- 女子団体組手
- 矢吹 緋音（広島国際学院高2年）
- 第53回全国高等学校定時制通信制バレーボール大会
- （8月4日～8日／神奈川県平塚市）
- 谷本 健（広島みらい創生高3年）
- 第64回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
- （8月1日～4日／安芸太田町）
- ビームライフル立射競技（女子）
- 栗本 らら（西城紫水高2年）
- 第4回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会
- （8月1日～4日／安芸太田町）
- ビームピストル立射競技（女子）
- 大森 衣里子（西城紫水高1年）
- 第26回全日本少年少女空手道選手権大会
- （8月13日～15日／東京都調布市）
- 小学6年生女子組手
- 祐宗 さち（板橋小6年）
- 小学4年生男子組手
- 矢吹 菜月（板橋小4年）
- 小学3年生男子組手
- 香川 駿夏（庄原小3年）

- 小学1年生女子組手
- 三上 蓮夏（板橋小1年）
- 矢吹 彩羽（板橋小1年）
- 日本女子学生ゴルフ選手権競技
- （8月26日～28日／岐阜県掛斐郡掛斐川町）
- 山岡 瑠生（関西福祉大2年）
- 日本スポーツマスターズ2026 石川大会
- （9月12日／石川県金沢市）
- 空手道競技 男子組手1部
- 加藤 真一
- 第80回国民スポーツ大会
- （8月29日～30日／青森県十和田市）
- ゲートボール（公開競技）
- 倉上 義彦
中原 功
- 全日本少年少女武道（銃剣道）錬成大会
- （8月5日／東京都千代田区）
- 団体試合錬成（中学生）
- 個人試合錬成（中学3年生）
- 細川 樟汰（東城中小3年）
- 田邊 宇海（東城中小3年）
- 団体試合錬成（中学生）
- 個人試合錬成（中学1年生）
- 宇恵 桔平（東城中1年）
- 田邊 空宙（東城中1年）
- 木下 健（東城中1年）
- 長谷 琉星（東城中1年）

食生活に気をつけよう！ No2
減塩みそ汁と野菜 350g 体験・7/2～3

東城自治振興センターで、集団健診の受診者を対象に、東城町健康づくり推進員による減塩みそ汁の試飲と、1日に必要な野菜摂取量の啓発が行われ、2日間で84人が来場しました。

来場者は、いりこのだしと野菜の甘みを生かした減塩みそ汁を味わい、市販のみそ汁と比べて、おいしく減塩できることを体験しました。また、1日に必要な野菜摂取量 350 g をフードモデルで確認し、普段の摂取量と比較しました。

来場者からは、「普段から塩分を控えめにしているが、こんなに野菜を摂れていない」といった声が聞かれ、日頃の食生活を見直すきっかけとなりました。



▲みそ汁の試飲を行う推進員と健診受診者

防災意識への高まりを感じる No4
竹地谷自治会老人部防災教室・7/25

竹地谷自治会では、〇和自治振興区の清水孝清区長と防災担当地域マネージャーの福田豊明さんを講師に迎え、防災教室を開催しました。

竹地谷地域は、防災マップ上で住宅の多くが危険箇所立地している一方で、市に大雨警報が発表されても地域では雨があまり降っていないことがあり、避難するべきか判断しにくいことが課題となっています。

教室では、雨雲の動きや降雨量を確認できる「防災アプリ」の活用方法を学びました。遠方に住む家族もアプリを登録し、地域の状況を共有することで避難を支援してもらう方法も紹介され、参加者からは「防災への意識が高まった」との声が聞かれました。



▲防災アプリの活用方法を学ぶ参加者

歴史のロマンと地元の味を満喫！ No1
帝釈峡 夏！ウォークと時悠館で歴史体験・7/25

帝釈自治振興区主催の「夏！ウォークと時悠館で歴史体験」が上帝釈で開催され、市内外から約70人が参加しました。

国の史跡に指定されている寄倉岩陰遺跡や永明寺などを歩いて巡り、職員による専門的で分かりやすい解説に、参加者は足を止め、熱心に耳を傾けていました。

昼食は、新鮮な地元野菜をふんだんに使ったバイキング形式の料理と、野菜たっぷりのカレーが振る舞われ、参加者は地元の味を堪能しました。

参加者は「お昼ご飯のカレーがとても美味しく、歩いた疲れが吹き飛んだ」「歴史の勉強にもなり、来年もぜひ参加したい」と笑顔で話しました。



▲永明寺の説明を受ける参加者

目指せ昆虫博士！ No3
昆虫採集・標本づくり教室・7/30

比和自然科学博物館で、公開講座「昆虫採集・標本づくり教室」が行われ、市内外の小学生など42人が参加しました。

午前中は、昆虫採集のポイントや注意事項について説明を受けた後、博物館周辺で昆虫を採集しました。例年より昆虫の数は少なかったものの、チョウやカマキリ、バッタなどを楽しそうに探し、採集しました。

午後からは、捕まえた昆虫の標本づくりに挑戦。昆虫の羽や足を傷つけないよう、一つ一つの作業に真剣に取り組みました。

参加者からは「大きな昆虫を捕まえてよかった」「素晴らしい標本ができた」と喜びの声が聞かれました。



▲昆虫標本を慎重に作成する参加者

令和8年度戦没者追悼式並びに平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表するとともに、恒久平和を祈念するため、令和8年度庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を8月19日、みどりしんきんホールで開催し、市民や遺族など352人が参列しました。

式典では、八谷市長が「先の大戦の惨禍を直接知る世代が少なくなっている現在、悲劇の記憶や教訓と先人たちから託された平和への願いを、決して風化させることなく伝承するとともに、平和の尊さを訴え続けることは、今を生きる私たちの使命。緑ゆたかな自然と温かい人の絆が息づくこの庄原の地で、誰もが笑顔で、安心して暮らすことができる平和な社会を築き、未来につないでいく」と式辞を述べました。

その後、高小学校6年生の美藤梨乃さんと政木汐織さんが「私たちは、平和への願いを世界中の人たちに届けます。誰もが笑顔で暮らせる平和な未来のために、これからも行動し続けることをここに誓います」と平和の誓いを述べました。

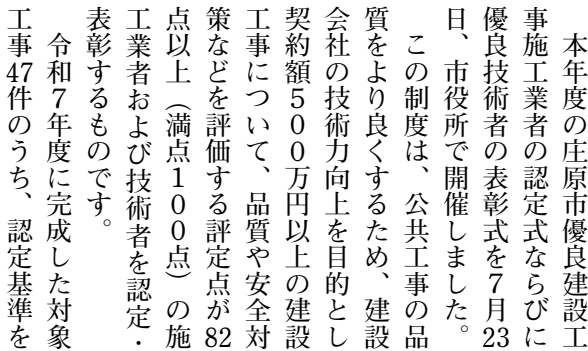
このほか、追悼吟詠、ジュニア合唱団やまびこによる合唱、口和本の会による朗読、庄原中学校吹奏楽部による演奏が行われました。

参列者は祭壇に献花し、2923人の戦没者の御霊を追悼するとともに、恒久平和への願いを新たにしました。



式辞を述べる八谷市長

優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



満たした4社を「優良建設工
事施工業者」として認定し、
工事を担当した技術者5人を
「優良技術者」として表彰し
ました。

認定制度を創設した平成20
年度から、(株)加島建設は4度
目、(株)大歳組は10度目、(有)中
田建設は3度目、(株)角栄組は
初めての認定となりました。

八谷市長は認定書と表彰状
を手渡し「今後も本市建設業
の担い手として、一層活躍い
ただきたい」と述べ、その栄
誉を称えました。

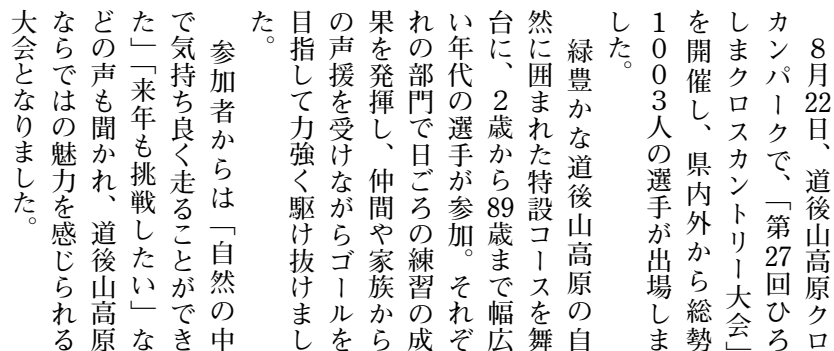
前列左から
(株)加島建設 代表取締役 加島俊次さん、(株)大歳組 専務取締役
京本憲幸さん、八谷市長、(有)中田建設 代表取締役 中田和克さん、
(株)角栄組 代表取締役 柳田修孝さん
後列左から
(株)加島建設 松田 誠さん、(株)大歳組 宮脇新悟さん、田坂伸介さん、
(有)中田建設 中田凌輔さん、(株)角栄組 桑原常之さん

全国大会等出場者壮行式（夏季）

団体試合錬成（小学5・6年生） 個人試合錬成（小学5・6年生男子） 長谷 希琉（小奴可小5年） 団体試合錬成（小学5・6年生） 個人試合錬成（小学5・6年生女子） 字惠 心春（小奴可小5年） 個人試合錬成（小学4年生） 木下 歩（小奴可小4年）	全国中学校体育大会 第53回 全日本中学校陸上競技選手権大会 （8月20日～23日／山口県山口市） 男子3000m 小野 颯佑（東城中3年）	第108回全国高等学校野球選手権大会 （8月5日～22日／兵庫県西宮市） 宮野 快生（鳥取城北高3年） 松永 悠詩（福山高3年）	全国中学校体育大会 第57回全国中学校柔道大会 （8月18日～21日／岡山県岡山市） 女子団体・女子個人57kg級 吉田 希柚（USA小倉塾）	マルちゃん杯 全日本少年柔道大会 （9月20日／東京都足立区） 中学生女子の部 吉田 希柚（USA小倉塾）
--	---	--	--	--



第27回ひろしまクロスカン トリー大会



ゴールを目指して駆け抜ける選手たち

2026 年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会

7月31日、上野総合公園陸上競技場で、「2026年度夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催し、市内外から630人が参加しました。毎年7月から8月にかけて全国各地で開催されるこの体操会。今年は全国37会場で実施される体操会の一つとして庄原市で開催され、当日は早朝から子どもから高齢者まで幅広い世代が集まりました。

参加者は、ラジオ体操指導者の動きに合わせて、ラジオ体操第一とラジオ体操第二を元氣よく実施。会場には爽やかな朝の空気の中、笑顔と活氣があふれ、体を動かす楽しさを感じながら、健康づくりに取り組みました。また、普段は一緒に体操する機会の少ない世代も、同じ会場で体を動かし、心地よい汗を流しました。

世代を超えて一緒に体操を楽しむことで、参加者同士の交流も深まり、健康づくりへの意識を高めるきっかけとなる一日となりました。早朝の爽やかな空気の中、みんなで体を動かすことで、気持ちの良い一日のスタートを切りました。



みんなで元気にラジオ体操！

教育指導課
読書の楽しさを伝える「子供司書」を目指して
「子供司書」養成講座



「子供司書」を目指して、熱心に学ぶ児童

本市では毎年、市内の小学5・6年生の希望者を対象に「子供司書」養成講座を行っています。「子供司書」は、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝える、子どもの読書活動推進リーダーです。本年は市内6校から19人が受講し、7月18日に第1回目の「全体研修」を行いました。受講者は、日本十進分類法の学習や絵本の読み語り、ポップ作りなどに熱心に取り組みました。参加した東小学校5年の藤本千紗さんは、「読み語りをする時は、体に絵本を近づけると見やすいと教えてもらった。今日教えてもらったことを、学校で読み語りをするときにも生かしたい」と話し、今後の活動への意欲を見せました。養成講座は12月まで続き、図書館業務の体験や各学校での読書活動に取り組みます。活動が認められると、1月に広島県教育委員会から「子供司書」として認証されます。

地域共創課
更生への一步を、地域の支えて
第76回「社会を明るくする運動」庄原市推進大会



自身の経験を基に講演する田岡さん

7月23日、庄原市ふれあいセンターで「第76回『社会を明るくする運動』庄原市推進大会」を開催しました。これは、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生への理解を深め、安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動です。開会式では、古賀正明広島保護観察所長の代理として、松林初恵次長から大会委員長の八谷市長へ、内閣総理大臣からの推進メッセージが伝達されました。その後「受刑者雇って大丈夫？？」と題し、榎豊生取締役の田岡晃二さんが講演。自身の服役経験や家族との関わりを踏まえ、受刑者の雇用に伴う葛藤や更生への道のりについて話し、更生の可能性と支援の大切さを伝えました。

総務課
被爆者の思いを継承
平和啓発セミナー

市は、原爆や戦争の記憶を風化させず、平和の尊さや戦争の悲惨さを後世に伝えていくことを目的に、毎年、平和啓発セミナーを開催しています。本年は8月3日に庄原市ふれあいセンターで、5日に西城自治振興センターで「被爆体験証言の伝承講話」を開催しました。講演では、被爆体験伝承者の藤井文子さん（庄原会場）、松原一彦さん（西城会場）が、写真や絵、当時の広島市の地図などを使い、被爆者から受け継いだ原爆の悲惨な状況や、平和への思いについて語りました。参加者からは「学校の友達や知り合いに、今日の話をしてほしい」「被爆者の年齢が上がる中、当時を知る人から直接話を聞き、伝承していく活動は大切だと思う」などの感想が寄せられました。市は今後も、戦争や原爆に関する記憶と平和への思いを次世代へ継承するため、平和啓発を推進していきます。



講演を行う松原さん（西城会場）



講演を聞く参加者（庄原会場）

政策企画課
空き家の「これから」を専門家と考える
空き家対策講演会・相談会

8月12日に庄原自治振興センターで「空き家対策講演会」および「空き家の無料相談会」を開催しました。講演会では、講師に一般社団法人あきやねつと庄原代表理事で司法書士の飯田一生さんを迎え、県内から27人が参加しました。「相続登記義務化」や「空き家放置のリスク」をテーマに、空き家問題の解決例について約1時間講演いただき、参加者は時折メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。講演会終了後の参加者からは「空き家問題について詳しく知れてよかった。また参加したい」などの声が寄せられました。その後、事前に申し込みをした6組を対象に「空き家の無料相談会」を実施しました。相談者それぞれの事情や希望に応じて、専門家が相続手続きや空き家の管理・活用について具体的にアドバイスしました。参加者からは「二人で悩んでいたが、相談したことで、今やるべきことが明確になった」といった声もあり、問題解決に向けた具体的な方向性を見いだす機会となりました。市では、一般社団法人あきやねつと庄原と連携し、空き家対策に取り組んでいます。空き家問題は、相続や登記、管理など、さまざまな課題が絡む、複雑な問題です。空き家について困っている人



熱心に講演を聞く参加者



事例を交えながら講演する飯田さん

は、一人で悩まず、ぜひ一度ご相談ください。今回の「空き家相談会」は11月11日(水)に庄原自治振興センターで開催予定です。詳しくは市ホームページでお知らせします。皆様のご参加をお待ちしています。

総務課
来庁者と職員の安全を守る
不審者対応訓練

7月22日、市役所本庁舎で「不審者対応訓練」を実施し、市職員47人が参加しました。本訓練は、不当要求行為などへの対策の一環として、職員の危機対応能力の向上と庁舎内の安全確保を目的に、庄原警察署の協力を得て実施しました。当日は、庄原警察署の署員から、不審者への対応方法やさすまたの基本的な取り扱いについて講義を受けた後、刃物を持った不審者が突然暴れる事態を想定し、通報から避難誘導、防犯までの実践的な訓練を行い、対応手順を全員で確認しました。参加者は実践訓練を通じて、冷静に判断することや職員間で連携することの重要性を再認識するとともに、自身の安全を確保しながら来庁者の安全を守るための対応力を高めました。訓練で明らかになった課題は今後の改善に生かし、引き続き来庁者と職員の安全・安心を最優先に、安全な庁舎環境の維持・強化に取り組めます。



さすまたを使った防御を実践



不審者への対応方法を学ぶ職員

妊娠・出産・子育てについて				●子育て応援課子育てサポート係 ☎0824-73-0051
各種相談など	とき	ところ	備考	
妊 娠 ・ 出 産 子 育 て の 相 談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時45分	子育て応援課 子育てサポート係	ほのぼのネット ☎0824-73-0051	
家 庭 児 童 相 談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時45分		家庭児童相談専用ダイヤル ☎0824-73-1243	
母子健康手帳交付	9月24日(木) 10月8日(木) 9時～16時45分		※事前予約が必要。 ※別日を希望される場合は、お問い合わせください。 ※持ってくるもの ▪ 出産予定日と受診した病院名が分かるもの ▪ マイナンバーカード ▪ 振込先口座が分かるもの(妊婦本人の通帳、 キャッシュカードなど)	
	10月1日(木)9時～12時	東城支所		
育 児 相 談	10月6日(火)10時～11時40分	庄原保健福祉センター	※事前予約が必要。 ※持ってくるもの：母子健康手帳	



第12回庄原書道墨友会展

とき
9月24日(木)～27日(日)
10時～18時
※27日のみ16時まで

ところ
庄原自治振興センター

問い合わせ
庄原書道墨友会
会長 平岡慶舟
☎0824・72・0677

家族みんなで楽しめる、ふれあいとあそび体験いっぱいのお祭りを開催します。

とき 10月4日(日)
10時～14時(少雨決行)

ところ
里山の駅 庄原ふらり

問い合わせ
庄原市こどもまつり実行委員会事務局(子育て応援課子育てサポート係)
☎0824・73・0051

催し



あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、困りごとなど、お気軽にご相談を

各種相談	とき		ところ	備考	問い合わせ
人 権 相 談	庄原	10月20日(火)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	西城	10月8日(木)13時30分～15時30分	西城支所		
	高野	10月13日(火)13時～15時	高野支所		
	比和	10月6日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		
	総領	10月14日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		
行 政 相 談	庄原	10月15日(木)13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	地域共創課 人権・多文化共生係 ☎0824-73-1154
	西城	10月15日(木)13時30分～15時30分	西城自治振興センター		西城支所市民生活係 ☎0824-82-2124
	東城	10月15日(木)13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	口和	9月25日(金)9時30分～11時30分	口和保健福祉センター		口和支所市民生活係 ☎0824-87-2112
	高野	10月13日(火)13時～15時	高野支所		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和	10月6日(火)13時30分～15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
	総領	10月14日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法 律 相 談	庄原	10月2日(金)13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による 無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	東城	10月16日(金)13時～16時	東城支所		
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		地域共創課 人権・多文化共生係	生活安全相談員	地域共創課 人権・多文化共生係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		地域共創課 人権・多文化共生係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員ほか	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 地域共創課 人権・多文化共生係 ☎0824-73-1154
北 部 地 域 県 民 相 談 室	①	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時15分～12時、13時～16時	広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1	相談員(電話・来所) 弁護士 ※①の相談後、予約可	北部地域県民相談室 ☎0824-62-5522
	②	10月8日(木)13時～14時30分 (30分×3枠)			
認知症カフェ	庄原	「これから」 10月13日(火)13時～15時	庄原ショッピングセン タージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」 10月1日(木)13時30分～15時	西城保健福祉センター (しあわせ館)	相談・情報交換 参加費100円	西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅」 9月15日(火)14時～15時	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	高野	「ほっとカフェ」 10月16日(金)10時～12時	下高自治振興センター		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
	比和	「あしたのカフェ」 10月20日(火)13時30分～15時	あけぼの荘		比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員 定期相談会	庄原	10月19日(月)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
療育手帳 巡回判定会	庄原	10月8日(木)10時～16時	市役所本庁舎1階相談室	1カ月前までに要予約	社会福祉法人 広島県福祉事業団 ☎082-400-9010
身体障害者 補装具判定会	聴覚	10月20日(火)13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎2階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	10月20日(火)13時～14時30分		広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料 相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

募集

庄原市文芸大会作品

庄原市文化協会は次のとおり作品を募集します。

募集作品

- ① 短歌（二人一首）
- ② 俳句（二人二句以内）
- ③ 川柳（二人二句以内）
- ④ 現代詩（一人一編）

※自作の未発表作品に限る
※複数部門の応募も可

応募資格

市民および市内の文芸サークル・団体・職場・学校に在籍する人

応募方法

【短歌・俳句・川柳】
はがきに記入して応募してください。

【現代詩】

黒ボールペンを使用し、原稿用紙へ楷書体で記入して応募してください。（パソコン原稿可）

※どの作品も必ず縦書きで記入してください。

※必ず住所・氏名・連絡先（電話番号）を明記してください。
※応募された作品は返却しません。

応募先

【短歌・俳句】

〒729・3722

総領町木屋1011番地

小島由佳利 宛て

【川柳】

〒727・0013

西本町一丁目22番7号

松苗 富江 宛て

【現代詩】

〒729・3721

総領町稲草2028番地1

澤 一枝 宛て

応募期限

10月5日(月)必着

※11月14日(土)に表彰式を行います。

問い合わせ

庄原市文化協会事務局(松苗)

☎090・2095・9020

県営住宅入居者募集

庄原市の県営住宅のうち、新たに空き家が生じた住宅があり、入居者を募集します。

受付期間

10月13日(火)～15日(木)

午前8時30分～午後5時まで

受付機関

広島県ビルメンテナンス協同組合 県営住宅管理グループ

(三次市十日市中二丁目13・36)

グランドグレース十日市103)

☎0824・62・6575

その他

9月は世界アルツハイマー月間です

国際アルツハイマー病協会は世界保健機構(WHO)と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と定めており、この日を中心に世界中で啓発活動が行われています。

日本でも、認知症についての関心と理解を深めることを目的とし、9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定められています。

本市においても9月の期間中、さまざまな形で認知症の普及啓発を行っています。

その取り組みの一環として、公用車へのステッカー貼付と、市内図書館へ特設コーナーを設置しています。

とき 9月30日(木)まで

ところ

庄原市立図書館(各地域分館)

また、パネル展も展示していますので、お出かけの際には、ぜひお立ち寄りください。

とき 9月15日(火)まで

ところ 東城支所

とき 9月19日(土)～25日(金)

ところ 市役所本庁舎



高齢者福祉課地域包括支援センター係
☎0824・73・1165

コテージ施設がオープン

帝釈峡まほろばの里キャンプ場内に、コテージ施設がオープンしました。バーベキューも楽しめる、ウッドデッキを備えた施設です。

予約受付

☎080・2123・1417

(株式会社帝釈峡遊覧船)

休場日 毎週水曜日

(水曜日が祝日の場合は、その翌日以降の休日でない日)

また、12月～3月は冬季休業

料金・定員

2万4千円(1棟／1泊あたり)

4人用(定員6人)

詳しくは、ホームページをご覧ください。



令和8年度 自衛官など採用案内

～平和を、仕事にする。陸海空自衛官募集～

募集項目	応募資格	受付期間	試験日程
2等陸海空士 (任期制自衛官)	18歳以上 33歳未満 ※32歳の人は、採用予定月の末日現在、33歳に達していないこと	年間を通じて受け付け	受付時にお知らせします
防衛大学校学生 (一般)	18歳以上 21歳未満 (自衛官は23歳未満) ※高卒または高専3年次修了者 (いずれも見込み含む)	10月15日(木)まで	1次：10月31日(土) 2次：11月27日(金)～12月2日(水) ※2
防衛医科大学校 医学科学生	18歳以上 21歳未満 ※高卒または高専3年次修了者 (いずれも見込み含む)	10月8日(木)まで	1次：10月24日(土) 2次：12月16日(水)～18日(金) ※2
防衛医科大学校 看護学科学生		10月2日(金)まで	1次：10月17日(土) 2次：12月5日(土)～6日(日) ※2
第3回 一般曹候補生 ※1	18歳以上 33歳未満 ※32歳の人は、採用予定月の末日現在、33歳に達していないこと	9月15日(火)～11月20日(金)	1次：11月29日(日)～30日(月) ※2 (Web試験) 2次：1月9日(土)～10日(日) ※2
第3回 幹部候補生 (一般・専門 (陸)) ※1	22歳以上 26歳未満 ※20歳以上 22歳未満の人は大卒(見込み含む)、修士課程修了者等(見込み含む)は28歳未満	9月25日(金)まで	1次：10月10日(土) 2次：11月21日(土)～25日(水) ※2
第3回 幹部候補曹 (陸・海・空) ※1	20歳以上 28歳未満 ※修士課程修了者等(見込み含む)		1次：10月10日(土) 2次：11月21日(土)～25日(水) ※2
第2回 医科・歯科幹部 ※1	医師・歯科医師の免許を有すること	10月22日(木)まで	11月13日(金)
第2回 キャリア採用幹部 (陸上・海上・航空)	大卒以上で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験を有すること	10月9日(金)まで	【陸上】10月30日(金) 【海上】11月6日(金)・9日(月) ※2 【航空】11月9日(月)
第2回 技術曹 ※1 (陸上・海上・航空)	20歳以上で国家免許資格を有すること		【陸上】10月29日(木)～30日(金) ※2 【海上】11月6日(金)・9日(月) ※2 【航空】11月9日(月)
第1回 自衛隊奨学生	大学、高等専門学校等で理学、工学、文学または法学を専攻しており、正規の課程を修了する年の4月1日現在で、26歳未満であること 大学院(修士課程・博士課程)在学者は28歳未満		11月7日(土)～8日(日) ※2

- ※1 採用計画数確保の見込みがある場合は実施しません。
※2 いずれか1日を指定。

試験日程などは変更となる場合があります。詳しくは自衛隊広島地方協力本部ホームページをご覧ください。

問い合わせ 自衛隊広島地方協力本部三次地域事務所 ☎0824-62-0350



自衛隊広島
地方協力本部
ホームページ

広告

保育士(中途/新卒)募集中

当社は庄原市100%出資の会社です。あなたの「ちから」が庄原市には必要です。
詳しい求人内容は当社webサイトからご覧いただけます。→

お問い合わせ先



まごころと信頼の提供

庄原市総合サービス株式会社

〒727-0012 庄原市中本町二丁目13-24 Tel (0824)75-0600 https://shobara.co.jp



フリーWi-Fiのご案内

田園文化センターでフリーWi-Fiサービスを始めました。

利用時間は、田園文化センターの開館時間中で、利用は無料です。ただし、インターネット上の有料サービスを利用した場合は、利用者の負担となります。ご自身のパソコン、スマートフォン、タブレットなどをご利用ください。

ところ

田園文化センターの図書館開架エリア（キッズスペースを含む）、研修室、ロビー
このサービスは、あらかじめ利用規約を確認・了承の上で利用してください。



相続・遺言に関する相談会

広島司法書士会では、相続・遺言に関するさまざまな悩みを抱えた人へのご相談に無料で応じる「相続・遺言に関する相談会」を次のとおり実施します。

10月18日(日) 10時～16時

電話相談

☎082・511・7196

面談相談 ※要予約

ところ

広島司法書士会総合相談センター（広島市中区上八丁堀6番69号）

面談予約

☎082・221・5345

相談内容

相続・遺言手続き全般

中小事業者事業継続・雇用維持臨時応援金の申請を受け付け中

本市では、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、最低賃金引上げなどの影響を受ける市内事業者に対し、応援金を交付しています。

※申請には要件がありますので、詳しい内容は市ホームページをご確認ください。



期限

9月30日(水)まで

支援金額

基本額3万円＋申請時点の従業員数（雇用保険法における被保険者数）×1万円

上限額

20万円（1事業所あたり）

対象者

次のすべてに該当する中小企業者・個人事業者・農業者など

- ①申請日時時点で市内に本店・支店などを有する法人、または市内に住民登録がある個人で、営利を目的として市内で事業を営んでいる者。
- ②令和7年分の所得税確定申告（法人においては、直近の法人税確定申告）をしていること。
- ③個人の場合、年金収入を除く収入のうち、主たる収入が事業収入であって、令和7年の収入が130万円以上であること。

法人の場合、前事業年度の事業収入が130万円以上であること。

- ④市税を完納していること。
- ⑤今後も継続して市内で事業を営む意思があること。

※他の臨時支援金（令和8年度実施）を受けている事業者などは対象になりません。

申請書類の受付窓口

申請書類の取得および受け付けは、庄原商工会議所または各商工会でお願いします。なお、郵送での受け付けは行っておりません。

2年・川手町）

第41回マルちゃん杯九州少年柔道大会

（6月14日／大分県）

中学女子の部 準優勝

USA小倉塾A

吉田 希柚（大分県宇佐中2年・川手町）

中国大会

中国地区空手道選手権大会

（7月18日／岡山県）

小学6年生女子組手 優勝

祐宗 さち（板橋小6年）

県大会

第64回大分県中学校総合体育大会

（7月23～24日／大分県）

女子団体 優勝

個人57キ口級 優勝

USA小倉塾

吉田 希柚（大分県宇佐中2年・川手町）



その他

第31回庄原市小学校陸上競技記録会

（6月13日／上野総合公園陸上競技場）

〔各種目学年別第1位〕

男子100メートル

上尾 悠太（庄原小4年）

木野 戸喜一（総領小5年）

田中 翔馬（庄原小6年）

男子800メートル

山本 大智（西城小4年）

佐藤 蒼汰（板橋小5年）

速見 浩生（東小6年）

男子80メートルハードル

秋山 悠之介（庄原小4年）

前岡 哲人（庄原小5年）

宮本 陽向（板橋小6年）

男子走り幅跳び

島田 悠利（東小4年）

山口 桜太郎（東小5年）

石田 隼（西城小6年）

女子100メートル

澤井 みなみ（庄原小4年）

青山 真子（永末小5年）

鳴戸 美織（口和小6年）

女子800メートル

横山 風花（東城小4年）

山脇 紫乃花（西城小5年）

祐宗 さち（板橋小6年）

女子80メートルハードル

澤井 みなみ（庄原小4年）

宇恵 心春（小奴可小5年）

◆所在地が旧庄原市内の事業者

庄原商工会議所（東本町一丁目2番22号）

☎0824・72・2121

◆所在地が西城・口和・高野・比和・総領の事業者

備北商工会 西城本所・各支所（本所・西城町西城197番地3）

☎0824・82・2904

◆所在地が東城町の事業者

東城町商工会（東城町川東1175番地）

☎08477・2・0525

受付時間

月曜日から金曜日（祝日除く）9時から16時

（12時から13時は除く）

※備北商工会の本所・各支所窓口については、曜日によって閉所していますので、事前にご確認ください。

問い合わせ

商工振興課商工振興係

☎0824・73・1178



広告

若者の配管工求む！

水と生活をつなぐ仕事を共に！正社員募集中

募集職種：配管工

未経験者大歓迎！資格取得支援あり

待遇：給与、各種手当、社会保険完備

お問い合わせ・応募：TEL (0824) 72-3700

メール：n-suisai@vesta.ocn.ne.jp



株式会社スイセイ設備

所在地：庄原市板橋町66番地



広告 【親切・丁寧をモットーに地域社会に貢献する会社を目指しています！】

賃貸アパート/売買戸建て/土地

庄原市のアパート探し、庄原市・三次市の戸建て・土地のことならお任せください。また不動産の売却相談・買取も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

広島県知事(5)第9130 (社)全日本不動産協会会員 (社)不動産保証協会会員

有限会社 カントリーランド

〒727-0012 広島県庄原市中本町1-4-9 庄原市役所前

TEL:0824・72・1497 FAX:0824・72・1435



ホームページ

国営備北
丘陵公園
だより



備北コスモスピクニック

9月12日(土)～10月18日(日)まで開催！
※休園日：月曜(9/21、10/12は除く)、10月13日(火)
9時30分～17時(入園は16時まで)

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(<https://www.bihokupark.jp/>)



**B I H O K U
F i r e w o r k s &
F a n t a s t i c S t a g e**

国営備北丘陵公園に今年も
花火の季節がやってきた！今
年はファンタジー系シンガー
ソングライターのDressing
ちゃん♪をはじめとしたアー
ティストによる音楽ステージ
も同時開催します。

とき 10月11日(日)
17時～20時

※花火打ち上げは19時30分～
※開場は16時～

ところ 大芝生広場

料金 入園料無料
イベント駐車券2千円/台
※車でお越しの人は数量限定
のイベント駐車券が必要とな
ります。(前売り有)

※詳細はこちら▼



お茶席

庄原茶道連盟の皆さんによ
るお茶席を体験できます。

とき 10月11日(日) 10時～14時

NAVY 1 フェスタ

マッシュルームの摘み取り
体験やキノコ観察会、キノコ
料理の販売など、キノコ(チ
バ)三昧のイベントで、里山
マルシェと共同開催します。

とき 10月18日(日)
10時～16時

ところ 里山の駅
庄原ふらり

料金 体験有料
(観覧無料)



**花譜 k a f u s
花と向き合い織りなして**

書道家・坂口赤道さん、写
真家・浅野堅一さん、画家・
大田祐子さんの三人による作
品展示を行います。

とき 10月3日(土)～18日(日)
9時30分～17時

ところ ひばの里 さとやま屋敷内



(受付は13時30分まで)

ところ ひばの里 さとやま屋敷 離れ

料金 500円/人 (お菓子付き)
定員 50人/日

入園料無料日(駐車料有料)

9月21日(月祝)・10月11日(日)・
18日(日)

※9月21日(月祝)は65歳以
上の人に限り入園料無料

※記載されている情報は8月
現在のもので、記載内容は
天候などの理由により予告な
く変更または中止となる場合
がありますので、お出掛けの
際には事前にホームページで
ご確認ください。

6年男子25m背泳ぎ
岡本 涼輔 (東小6年)
6年女子25m背泳ぎ
前岡 はる (山内小6年)
5年男子25mバタフライ
梅津 宗吾 (庄原小5年)
5年女子25mバタフライ
田辺 里海 (庄原小5年)
6年男子25mバタフライ
内田 琉生 (東城小6年)
6年女子25mバタフライ
内田 紗彩 (東城小6年)
5年男子25m自由形
倉本 篤 (高小5年)
5年女子25m自由形
鏑 佐江 (西城小5年)
6年男子25m自由形
岡本 涼輔 (東小6年)
6年女子25m自由形
永田 柚葵 (板橋小6年)
5年男子25m平泳ぎ
森田晴来斗 (東城小5年)
5年女子25m平泳ぎ
田辺 里海 (庄原小5年)
6年男子25m平泳ぎ
坪田 雄真 (東城小6年)
6年女子25m平泳ぎ
永田 柚葵 (板橋小6年)
5年男子50m自由形
阿部 将大 (庄原小5年)
5年女子50m自由形
政森 心菜 (東城小5年)
6年男子50m自由形
石田 隼 (西城小6年)

6年女子50m自由形
前岡 はる (山内小6年)
5年男子50m平泳ぎ
小川 奏翔 (東城小5年)
5年女子50m平泳ぎ
入江 杏南 (東城小5年)
6年男子50m平泳ぎ
速見 浩生 (東小6年)
5年男子100m平泳ぎ
佐々木陽里 (東城小5年)
6年男子100m平泳ぎ
久保田悠斗 (庄原小6年)
6年女子100m平泳ぎ
前岡 はる (山内小6年)
5・6年混成100mリレー
(西城小Aチーム)
竹光 寅泰 (西城小6年)
石田 弥麗 (西城小5年)
鏑 佐江 (西城小5年)
石田 隼 (西城小6年)
5・6年男子100mリレー
(東城小Aチーム)
清水 太陽 (東城小6年)
久河 凌士 (東城小6年)
赤木 総悟 (東城小5年)
石田光太郎 (東城小6年)
5・6年女子100mリレー
(東城小Aチーム)

市税・保険料の納期限のお知らせ

- 国民健康保険税(普徴) 3期
- 介護保険料(普徴) 4期
- 後期高齢者医療保険料(普徴) 3期

納期限
9月30日(水)

「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高確
認をお願いします。

税務収納課収納係 ☎ 0824-73-1511

100mメドレーリレー
(東城小Bチーム)
石井 環菜 (東城小5年)
森田晴来斗 (東城小5年)
小川 奏翔 (東城小5年)
政森 心菜 (東城小5年)



広告

相続空き家問題・成年後見等でお困りの方、
あなたの世代で解決しませんか？

業務のご案内

- 不動産の名義変更
- 成年後見
- 相続登記・遺言
- 会社の登記
- 借金の整理
- 簡易裁判所訴訟代理等

※詳しくはホームページに記載しています。

庄原 司法書士 検索

司法書士 飯田 一生
(広島司法書士会所属)

司法書士法人
広島北部司法事務所 (簡易裁判所訴訟代理認定番号524014号)(司法書士登録番号828号)
平成29年4月1日より庄原市役所に事務所移転しました。
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315(要予約)

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。

ナガカ 長岡商事株式会社

災害時に一番早く復旧するプロパンガス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場を
ご提案致します。

☎ 0120-184-268

広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-0561



人の動き（庄原市の人口）
令和8年7月末現在

【住民基本台帳登載人口】

人口 29,891人（前年比－730人）
男 14,325人（前年比－370人）
女 15,566人（前年比－360人）
世帯数 14,505世帯（前年比－140世帯）

【うち外国人】人口 648人（前年比＋68人）

【各地域の内訳】

○庄原地域 16,072人（7,780世帯）
○西城地域 2,675人（1,257世帯）
○東城地域 6,180人（3,135世帯）
○口和地域 1,595人（722世帯）
○高野地域 1,358人（600世帯）
○比和地域 1,000人（496世帯）
○総領地域 1,011人（515世帯）



休日診療のご案内

9月・10月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原市休日診療センター

診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
問診診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）

●東城地域

9月20日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
21日（月）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
22日（火）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
23日（水）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
27日（日）	瀬尾医院	☎08477-2-0023
10月4日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
11日（日）	東城病院	☎08477-2-2150
12日（月）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
18日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎0824-72-8285 まで

と き 10月9日（金）9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>

広報日記

表紙は「二十歳を祝う会」をInstagram 風に。久しぶりに再会した仲間と笑顔で語り合う姿が、とても印象に残りました。二十歳を迎えた皆さんが、それぞれの夢に向かって歩いていくことを願っています！
〔西〕「二十歳を祝う会」の取材では、多くの若者が参加する中での撮影でした。声を掛けるのが不安でしたが、皆さんが快く応じてくださり、素敵な写真を撮ることができました。ご協力ありがとうございました。㊥



食育コーナー

圃農業振興課 ☎0824-73-1227

庄原市食農教育モデル事業

「食農」とは、「食物を育てて、収穫し、食する」ということを実践し、「食」と「農」について学んでいくという取り組みです。

市は、「食農教育モデル事業」として、地域の子どもたちに「食および農業」の大切さを学習する機会を提供し、地域の農業、食の安全などへの関心・理解を深める取り組みを支援しています。

本年度は市内の小学校11校がこの事業に取り組み、米や、キュウリ・ナスなどの夏野菜、リンゴやブドウなどの栽培・収穫作業を体験しています。

小奴可小学校では、地域に伝わる「大山供養田植」の伝統を学び、継承する活動に取り組んでいます。春には、園児との交流も兼ねて田植え体験を行いました。

当日、子どもたちは素足で田んぼに入り、最初は「ぬるぬるする！」「冷たい！」と驚いた声をあげながらも、次第に慣れ「気持ちいい！」「もっとやりたい！」と笑顔いっぱい田植え歌に合わせて苗を植えていきました。園児に「ここに植えるよ」「一緒にやろう」と優しく声をかけたり、手を取りながら教えてあげたりする中で、自然とコミュニケーション能力が育まれ、交流が深まる貴重な機会となりました。

子どもたちは「最初は泥の感触に驚いたけれど、園児と一緒に伝統の田植えができて楽しかった」「優しく声をかけながら教えることで、一緒に活動を楽しめてよかった」「みんなで協力して植えた苗が、大きく育ってほしい」と、頑張った交流活動と伝統を学ぶ楽しさを振り返りました。



▲食農体験を行う子どもたち



比和自然科学博物館

☎0824-85-3005
開館：9時～17時（年末年始休館）

「幻の溪流魚 ゴギ」の生態を知ろう ～スポット展示と公開講座のお知らせ～

本市の溪流には広島県および庄原市が指定する天然記念物「ゴギ」（区域指定、1951・1986年指定）が生息しています。ゴギは中国地方の山間部、特に標高の高い源流域にのみに生息するイワナの仲間で、近年、その生態について庄原出身の愛媛大学大学院生 佐々木悠人さんが調査研究を行っています。

今回、天然記念物の指定範囲外の「ひろしま県民の森」における渓流域（六ノ原上流部の本流や支流）で、流程（上流から下流に向かう川の流れ）に沿った個体数や形状変化などの調査を行い、この流域においてゴギが生息する環境としてのメリットやデメリットを検証し、その結果を論文発表されました。

比和自然科学博物館では、研究成果や当館が所蔵している標本などをスポット展示にて紹介しています。ぜひ当館へお越しいただき、庄原の豊かな自然が育む溪流の宝石「ゴギ」をご覧ください。

【展 示 名】第9回市民研究者チャレンジ企画展示

「幻の溪流魚 ゴギの生息状況調査～庄原の豊かな森が育む溪流の宝石～」

【展示期間】10月30日（金）まで

【第9回 特別講座】幻の溪流魚ゴギの生態現地講座

10月17日（土）



▲ゴギ（Hosoya（2013））によれば、ゴギは頭部まで斑紋があることによって分類されている。）

令和8年度の公開講座については、比和自然科学博物館のホームページをご覧ください。



市民ギャラリー「アート多愛夢」
情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

▶第22回庄原絵手紙大賞作品展示

と き 10月8日（木）～10日（土） 10時～15時

圃アート多愛夢事務局 ☎0824-72-6405（友永）
※展示を希望する団体（または個人）はお申し込みください。使用料は要りません。



食彩館しょうばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

9・10月のイベント情報

▶ゆめさくら講座

○草木染め教室（ロウケツ）

と き 9月28日（月） ①9時～12時 ②13時～16時

▶展示・イベント・販売

○シルバー人材センター（てしごとの会）

と き 10月17日（土）・18日（日） 9時～15時

○水庄会作品展

と き 10月2日（金）～18日（日）



ロビーコンサート

圃生涯学習課 ☎0824-73-1189

庄原 と き 9月28日（月）12時15分～12時55分

ところ 庄原市役所ロビー

東城 と き 9月28日（月）17時30分～18時30分

ところ 東城支所ロビー

出演者 Los Pepinos（ロス ペピーノス）

▶ボーカル KIMIE（キミエ）

▶ピアノ 中井 知恵美

▶ベース 中村 尚美

▶パーカッション／ドラム 末平 英史

演奏曲目 Son de la Loma、El cuarto de Tula、Moriend cafe（コーヒー ルンバ）ほか

▶KIMIE

ジャズを中心に、ポップス、ラテン、歌謡曲まで幅広いレパートリーを持つヴォーカリスト。

▶中井 知恵美

1998年にニューヨークに単身赴任し、ラテン音楽やラテンジャズ分野で音楽活動を行ってきた。

▶中村 尚美

1999年に「まつぼっくり少年少女合唱団」のバックバンドとしてニューヨーク国連本部で演奏。現在は、岡山を拠点に活動中。

▶末平 英史

広島を拠点に活動するドラマー、パーカッションスト、ドラマ・パーカッション講師。ライブやレコーディング、セッションなど幅広い音楽シーンで活動している。

生涯
学習課・
政策
企画課

二十歳の節目を仲間と祝う

令和8年度庄原市二十歳を祝う会・庄原ファンクラブ「リンク」同窓会

8月15日、みどりしんきんホール大ホールで「令和8年度庄原市二十歳を祝う会」を開催しました。

本年は、平成18年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた人が対象で、市内在住者と本市出身者200人が出席しました。

式典では、八谷市長をはじめ来賓から、二十歳を迎えた皆さんへお祝いの言葉が贈られ、二十歳を迎えた皆さんを代表して、堂前ゆきのさんが「支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れず、このまちに恩返しができる人間となり、地域の未来に力を添えられる存在になりたい」と謝辞を述べました。

最後に、元サンフレッチェ広島選手の森崎浩司さん、中島浩司さん、サンフレッチェ広島スタジアムDJの貢藤十六さんが「それぞれの二十歳、それぞれの歩み」と題して記念講演を行いました。

その後、庄原グランドホテルで二十歳を祝う会コラボ企画「庄原リンク 同窓会」を開催し、106人が参加しました。

司会に、庄原ファンクラブ公認リンクアンバサダーの末井櫻子さんを迎え、軽快なトークや抽選会で会場は大盛り上がり。参加者は、スイーツbuffetを楽しみながら、再会した同級生との談笑やフォトブースでの記念撮影など、楽しいひとときを過ごしました。



息の合ったトークで会場を盛り上げる3人



ふるさとへの感謝を胸に、謝辞を述べる堂前さん

政策
企画課

県市トップがテーマ別に意見交換

県・市町連携会談



帝釈峡を視察する八谷市長(左)と横田知事(中央)

7月22日、市内で、八谷市長と横田美香広島県知事が課題や政策について意見を交わす「県・市町連携会談」が開催されました。

会談に先立ち、八谷市長と横田知事は、国定公園帝釈峡と帝釈峡博物館展示施設「時悠館」を視察しました。帝釈峡では、昨年の落石事故以降、通行止めとなっている雄橋までの遊歩道を現地で確認し、現状を説明しました。

その後、会場を帝釈峡観光ホテル別館「養浩荘」に移し、観光、林業振興、J R芸備線をテーマに、県と市の職員を交えて活発な意見交換を行いました。

会談を終え、横田知事は「庄原市とともに、多様な資源の有効活用を検討していきたい」と述べ、八谷市長は「県と役割分担しながら、地域の発展に向けて取り組んでいきたい」と話しました。

広告



ヤマモトロックマシン株式会社

広島県庄原市東城町川西424-1

TEL 08477-2-2137

